

電子情報システム工学科 ディプロマ・ポリシー

電子情報システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
- A-1) 数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。
〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
- A-2) コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。
〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
- (B) 国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいて判断できる。
- B-1) 人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
- B-2) 技術者として必要な社会倫理を理解し実践できる。
〔技術者倫理の理解と実践力〕
- (C) 国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
- C-1) 日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
- C-2) 外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
- C-3) 技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的内容の伝達能力〕
- (D) 電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。
- D-1) 電気回路などの専門的な知識を身につけ活用できる。〔電気回路等の専門的知識と活用能力〕
- D-2) 電子デバイス、情報通信やシステム、ハードウェアやソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。〔電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力〕
- D-3) 電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。
〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
- (E) 自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。
- E-1) チームワークで課題解決の計画を立案してそれを遂行できる。
〔チームワークによる課題解決能力〕
- E-2) さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。
〔独自の方法での課題解決能力〕
- E-3) 与えられた条件下で課題を解決できる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
- E-4) 自主的な学修を継続することができる。〔自主的な学習の継続能力〕
- ※2019年度～2022年度入学生は全員実務コースに配属されており、上記内容となっています。